



全国大会の会場となる「グランドホテル浜松」



恒例のエクスカージョンも多彩で、三コースによるゴルフコンペ、浜松を代表する地場産業ツアー、観光静岡の名所巡りと、参加者が自由に楽しめ、勉強できるコースをセッティングしている。さらに地場産業ツアーは、浜松が誇る楽器、オートバイ、繊維(ファッション)の三大産業を

中心に事業所見学を予定している。観光静岡の名所巡りは、沼津、清水、静岡、藤枝、掛川、浜松の各年部員がそれぞれ手分けして案内する。

△浜松市の概要
 △人口 五三三、三二〇人
 △世帯数 一七、八八五世帯
 △面積 二五〇・三九キロ平方メートル

記念講演の講師となるアルビン・トフラー氏

アルビン・トフラー(Alvin Toffler)は、一九二八年、ニューヨーク大学卒業後、「フォートナム」副編集長を務め、コネル大学客員教授を経て、ロックフェラー財団、AET顧問を務める。七〇年にベストセラーとなった「未来の衝撃」、八〇年には第三の波を発表し、流行語になるほど各分野に影響を与えた。

11月16日(金) AM 7:30~PM 2:15 全国大会観戦ゴルフコンペ AM 9:00~PM 2:30 地場産業視察ツアー PM 3:00~PM 4:00 登録・受付 PM 4:30~PM 6:00 式典 PM 6:00~PM 8:00 懇親会	11月17日(土) AM10:00~AM12:00 記念講演 エクスカージョン(県内観光ツアー) 11月18日(日) エクスカージョン(県内観光ツアー) 11月16日(金) PM 3:00~PM 4:00 第13回通常会員総会
--	--

今、世界的に活躍中のアメリカの未来学者アルビン・トフラー氏を記念講演会の講師にお招きいたします。アルビン・トフラー氏は一九七〇年「未来への衝撃」、一九八〇年「第三の波」を刊行した世界的に有名な未来学者です。今年十年ぶりに「パワースhift」を秋に発行予定です。全員がヤホンをかけていただき同時通訳で聞いていただきます。二十世紀最後の十年を「知的エネルギー」の十年にしていただくための、またとない機会です。是非みなさん聞いていただきたいと思っております。

第10回全国大会、浜松で開催!

若者達はいつの時代も「感動」によってエネルギーを「共感」によって知的原体験を共有してきたはずだ。知性と感性の祭典が第10回大会のテーマ。新たな世紀に向けた改革の情熱で、20世紀最後の10年を突っ走るエネルギーとそれを支え切る。若者達のアイデンティティをこの浜松で作りに上げてみたい。19世紀末のモンパルナスのように、ここが年代のための知性と感性の揺りかごであって、新しい「何か」のための記念すべき出発点でありたい。

第十回商工会議所青年部全国大会は、平成二年十一月十六、十七日の両日、静岡県浜松市で開催される。この記念すべき全国大会の主管は静岡県連で、大会事務局は浜松青年部が務める。過去九回の開催地は、順に前橋、高岡、大分、水戸、福井、福島、沖縄、山口、高知。

浜松青年部は昭和六十一年十一月に九十七名で設立され、昭和六十二年九月に第八回関東ブロック運営研究

会を開催した経験を持つ。昨今全国大会に開催準備委員会を発足させ、静岡県連六百名全員で大会準備を進めている。

大会は十月十六日の式典と懇親会、翌十七日の記念講演のついでに大きく分けられるが、いずれも二十世紀最後の十年の幕開けの年にふさわしい記念すべき大会にしたいと、神谷竹彦(浜松青年部長、大会会長)以下が強い意気込みを示している。

十六日の式典では、活気溢れる浜松市とその地域性をアピールする意味で、音・光・色を巧みに生かした多彩な催しを展開し、開会まで「さわやかなミニコンサート」を開く。

懇親会は参加者全員の感性をエネルギーを確認、合う場として、入ふれあい、友情をテーマに、大いに語り合う場所を用意する。そのために、会場となるホテルのフルタイムロビーを、お祭り広場に变身させ

てムードを盛り上げる。アトリウムロビーは、参加者の個性に合わせた「露店が並ぶ歓楽街」となる。十七日は「知的な興奮」を呼び起こす企画となる。今、世界的に活躍しているアメリカの未来学者アルビン・トフラー氏が記念講演を行う。同氏は一九七〇年に「未来への衝撃」、一九八〇年に「第三の波」の著作を発表し、世界中に大きな衝撃を与えた。とくに第三の波は、われわれ青年部世代に大きな影響をもたらした本である。同氏はまた、今秋十年ぶりに「パワースhift」と題する著作を発表する予定である。

講演は、同時通訳で聞くことになるが、主催者側では二十世紀最後の十年を「知的エネルギー」とその意義を強調している。

感性とエネルギー 知的興奮の大会に

浜松大会会長 神谷竹彦

第十回商工会議所青年部全国大会を開催するに当たりまして、私達青年部は昨年準備委員会を発足させ、記念すべき大会にするためあらゆる準備をまいりました。

いよいよ平成二年十一月十六日(金)十七日(土)の二日間、グランドホテル浜松で第十回商工会議所青年部全国大会「浜松大会」を開催いたします。

浜松の地域性を充分発揮しようと、音・光・色を使った式典を計画しております。参加される方々も、さわやかなミニコンサートで開会までお楽しみいただくことになっております。懇親会は全員の感性とエネルギーを確認しあう場とし、人、ふれあい、友情をテーマに大いに語り合います。

全国青年部のイベント紹介

地域活性化、イベントの担い手に

要性を強く感じ、市民の手により市民が憩う「市民の森」、そして全国でも有数の桜の名所として「桜の園」にすべく、市とともに「FUKUIさくらルネッサンス」事業を開催しました。

事業内容 福井市の中心に位置する足羽三山(足羽山、兎越山、八幡山)にソメイヨシノ・ヤマザクラ等・桜3,000本を植樹した。
○市民植樹祭……平成元年11月19日(日)
○桜のご案内……平成2年4月8日(日)

青年部名：新潟県・村上

会長名：山ノ井 一夫
行事名：村上商工会議所創立40周年記念事業 第3回市民青空バザール '90 MISURAKAMI イメージガールコンテスト

日時：平成2年5月27日(日)
行事内容：イオボヤ会館イベント広場において、村上商工会議所青年部主管により村上商工会議所創立40周年記念事業の一環として第3回市民青空バザールが開催されました。当日は、曇一つない好天に恵まれ、およそ1万5千人の観衆で賑わいました。
今回は特別企画として'90ミス村上イメージガールコンテストが行われ、18名の出場者の中から、ミス村上1名と準ミス村上2名が、会頭、市長そして当日の来場者50名の審査により選ばれました。

その他、小学生以下の「パンダさんとジャンケン大会」、村上おやこ劇場の「マジックショー」、恒例綱引き大会、福袋などが当たる抽選会などが行われました。

バザール出店は41店舗で例年並みでしたが、晴天に恵まれたことやミスコンテストがあったことなどで午前中に完売になった店もあり、大変盛況でした。

青年部では、この市民青空バザールを今後も継続、実行して行きたいと決意を新たにしています。

青年部名：青森県・青森

部会長名：中村 公英
行事名：安瀾みなとまつり'90
日時：平成2年7月28日(土)～29日(日)
行事内容：青森の活性化のために、海から生まれたこの町にもう一度海を取り戻そうを合い言葉に「安瀾みなとまつり'90」を青年部が主催。

早朝から深夜まで丸2日間、みなとまつり会場に5万人を超える入場者を集めた。

イベントの中心は、陸上では「新能」の上演、海上では「ジェットスキーレース」をはじめとするマリンスポーツと、各種イベントが多彩に展開された。

新能は、中世青森のうとう・やすかたを舞台にした能「うとう」が上演された。古来各地で「うとう」は上演されてきたが、本来演じられるべき地で遂に実現できたのは夢のようである。

この他ミニシアターの写真撮影会、コスモ・ゴニのシンセサイザーとレーザー光線によるサンセットコンサート、ねぶた運行などが行われ、会場を熱狂に包んだ。

青年部名：栃木県・真岡

会長名：石岡 博
行事名：真岡線にSLを走らせよう
日時：平成2年4月
行事内容：真岡は、NHKの大河ドラマ「春日局」の夫君、稲葉正成公の終焉の地であることから、市では昨年、テレビ放映に便乗して知名度も希薄な「もおか」を全国的にPRしようと、約1億円を投じて「春日局ドラマ館」や「稲葉正成館」を特設した。その結果、全国各地から延べ15万人の観光客が訪れ成功のうちに終了したが、しかしこのビッグイベントも一過性のものである。

このため、当青年部では「春日局」に続き、平成2年度重点事業に「真岡線沿線の観光開発と地域活性化」に取り組むことを決め、特別委員会を設置した。まず、委員会の仕事は「真岡線に走らせるSL」を探すことにあり現在、市内の鉄道ファンやSLの愛好者たちが中心になって結成した「真岡線にSLを走らせる会(会員250名)」とともに、国内はもとより遠くは海を越えて台湾、中国まで足を伸ばしSLの情報集めに奔走している。最終的にはSLを購入して、定期的に走らせる構想である。

真岡線は、茨城県下館駅から陶芸のまち益子を通り、終点茂木駅までの42kmを結ぶ単線、赤字ローカル線といふことで一時は廃線の危機に見舞われたが、住民の強い要望で63年4月に第3セクターによる真岡鐵道に生まれ変わり、現在通勤通学の足としてレールバスが走っている。かつてC-12型の蒸気機関車が走っていたが、昭和45年を最後にその姿を消した。

「SLを走らせることは夢を実現するだけでなく、街づくりのきっかけにもなる」という訴えに、沿線の5商工会青年部も賛同。1市5町連帯共同体を互いに認識し、地域活性化に向けて協力することで合意した。また、この事業を成功させるには地域住民の協力が必要であるため、復活の気運を盛り上げるための写真展や映画の上映会等のイベントも企画されている。

郷土の田園の中、煙をたなびかせて走る蒸気機関車の街姿を再び見ようという夢にかきたてられ、「SLの走る街-真岡」を新しい観光資源にしようと、わが青年部は動き出した。

青年部名：福井県・福井

会長名：林 逸男
行事名：FUKUIさくらルネッサンス
日時：平成2年秋
行事内容：福井商工会議所青年部では、これまで「市民の広場」事業を通じ、福井市民の①自然と親しむ場、②人々の集う場、③ホスピタリティーの場として、都市の中の緑の空間として貴重な存在である足羽三山の開発、整備の必要性を訴え「市民の憩う森」づくりを提案してまいりました。

現在、足羽山、足羽川堤防を中心として福井市の桜の名所が形成されております。これらの桜は、戦災により焼土と化した福井市の街並みの復興とともに緑を蘇らせる運動として福井商工会議所と福井観光協会が主催し、市民の浄財により植えられたものです。しかし、現在高齢化が進んでおり、寿命もあと数年と言われております。

そこで、平成元年度、市制100周年を契機に、福井市のシンボルの存在であり緑豊かな足羽三山を、整備する必

青年部名：佐賀県・鹿島

会長名：石橋 英司
行事名：「今、鹿島は燃えている！」WE LOVE ガタリンピック
日時：平成2年5月5日(土)
行事内容：昭和59年、新幹線や高速道路と言った高速交通網体系からキレイに外れた【陸の孤島】鹿島市の若者達の中に、「このままでは愛するふるさとが駄目になる！」と言う機運が生まれて来ました。私達は「ただ手をこまねいて『鹿島沈没』の日を見るより、いま、自分達が出来うる最大限の努力をすべきだ！」と立ち上がりま

した。
翌昭和60年3月、我々が最も愛着心のある〈有明海〉に【海浜スポーツ公園】が完成しました。「くけら落として我々の手で企画しよう！」との提案があり検討を始めたが、例会では案名が浮かばず得意の〈呑みにケーション〉の場に議論は持ち越しました。飲みながら議論沸騰の中、誰かが「濁の上のオリンピックがよいヨ！」と言ったのがきっかけとなり、天下の【電通】の宣伝マンが総賛した「ガタリンピック」と言う名前が誕生したのです。その時、我々には日本一〈ユニークなイベント〉とマスコミにはもとより、全国津々浦々の人々に愛されるイベント「ガタリンピック」が産ぶ声を上げたとは想像もつきませんでした。

今年開かれた、第6回大会では、鹿島市の人口の1.5倍である5万人もの観客数を記録しました。マスコミもN TV「独占スポーツ情報」「ズームイン朝」、NHK衛星第1放送等、今まで鹿島とは縁遠いメジャーな番組がこの世にも不可思議なイベントを取り上げてくれました。

取材の局の多さに、窓口の観光課も嬉しい悲鳴を上げている昨今です。さらに、このイベントにあわせて、約300人前後の外国人ホームステイも行っております。

このイベントは我々に沢山のことを教えてくれましたが、その最たるものは「心の豊かさ」と「団結力の尊さ」でした。「何もない！」と言うのは簡単ですが、日本一田舎の島の、そのまた田舎の鹿島市民が「何もない！」と泣き言一つ言わずに、愛着心のある大自然を有効に利用し、日本の初夏の風物詩とも言えるイベントを創り出したのです。もし鹿島市に色々と便利な物があつたら、逆にこのような奇想天外な発想は生まれなかったのではないのでしょうか。



ガタリンピックのメダリストは、いまや鹿島のスターなのだ

平成2年度(11月～3月)スケジュール

11月	16(金)～17(土) 第10回全国大会 (浜松)	16(金) 第13回通常委員会総会 (浜松)	16(金) 第47回役員会等 (浜松)	・機関紙「翔生」(第9号)発行
12月			4(火) 第48回役員会等 (東京)	・平成3年度役員との懇談会 4(火) (東京) ・平成3年度役員第1回打ち合わせおよび平成3年度正副会長第1回会議 5(水) (東京)
3年1月			18(金) 第49回役員会等 (松江)	・平成3年度役員第2回打ち合わせ 18(金) (松江) ・平成3年度正副会長第2回会議 19(土) (松江)
2月		7(木)～8(金) 第8回中央研究会 (東京) 8(金) 第14回委員会総会 (東京)	7(木) 第50回役員会等 (東京)	・平成3年度正副会長第3回会議 7(木) (東京) ・平成3年度役員第3回打ち合わせ 8(金) (東京)
3月				・機関紙「翔生」(第10号)発行 1(金)

青年部名：島根県・松江

会長名：泉 謙吉
行事名：水郷祭
日時：平成2年8月4日(土)～8月5日(日)
行事内容：親会議所が主催する水郷祭に協力し、水辺の市に出店する。かき水販売、コーラ販売、バザーをし、会員相互の連係を取りながら、親睦を深める。

青年部名：秋田県・大館

会長名：伊 東 良 裕
行事名：大館大文字まつり
日時：平成2年8月16日(木)
行事内容：親会議所が主催する大館の夏まつりは殊のほか勇壮です。毎年8月16日には市の目黒通りである大町中央通りはまつり一色に。歩行者天国となった通りに浴衣がけの人びとが行き交う。勇ましい「獅子舞」、そして陽が西に傾く頃に、手ぶりも鮮やかな「一万人踊り」……。やがて夜8時闇をさいて宙に浮かぶ「大」の文字。鳳凰山の山肌をこがす大文字焼です。

商青連42名の経済視察報告

ASEAN4カ国訪問

中小企業の海外進出の可能性を深る



海外研修特集



東南アジア経済視察団
の日程
平成二年七月五日(木)～十二日(木)



燃えつきった友情の輪が
生れた。

様々な体験、人との出会いから参加した42名、青年経済人は大きな収穫を持ってそれぞれの地へ帰っていった。このメンバーの中から次々と経済進出、人的交流を実現していく経済人が出てくる予感を感じさせるツアーであったと感じた。

シンガポール

訪れた国に知ったアジアの現状、経営者の苦勞、そして夢、地域から国際化を実現しようと考えている42名の団員は出合った現の経営者の生の声に何かを感じたはずである。

バンコク(タイ)

十三世紀に建国以来、今日まで独立を維持してきた東南アジアで唯一の国。立憲君主国で元首は国王である。

タイ訪問の目的は私達商青連の仲間である原田義之氏(兵庫県・高砂青年部)がパートナーとなつてRIGTHAI ENGINEを訪れる

ある商青連に所属する私達自身がアジアに目を向け、正しいアジアを理解し経済活動を行うことの重要性を認識すべく、この経済視察団を企画いたしました。全国から42名の参加の中に具体的に進出を考えた人、投資を考えた人など、

「アジア経済圏」を実感

団長・商青連会長 小林 幹生



をいただき大変充実した視察となり、各国において熱烈な歓迎をうけました。

この経済視察団は、現地の日本人商工会議所の皆様のご尽力により、スムーズに視察が終了できました。ことに、衷心より厚く感謝申しあげさせていただきます。

ジャカルタ(インドネシア)

人口一億六〇〇万人、面積は日本五・二倍、大小三、七〇〇の島々から成る資源の宝庫、インドネシア。オランダの植民地から一九四九年に独立。アセアンの中で最も資源にめぐまれながら経済成長の遅れている国である。ジャカルタ訪問の目的は、一割の大倉持ちと九割の低所得者というジャカルタに初めて高級デパートを出店した日本のそのアパルトと素朴で勤勉な同国人が高い技術を発揮している東陶機器の工場見学であった。

クアラルンプール(マレーシア)

最後の訪問地、クアラルンプールはマハティール首相のもと、強力な経済開発政策が進められている。リンク・イースト政策を提唱し、日本、韓国を見習えと盛んに留学生を日本に送りこんだり、日本企業誘致をすすめている。一九八五年、中曽根総理大臣(当時)とマハティール首相とのトップ会議で国内唯一の外国人商工会議所JACITMが創設された。JACITMの主なる目的は日系企業の投資環境の改善にある。クアラルンプール訪問の目的は、このJACITMのメンバーである5人の経営者と出会うこと、そして内田洋行の工場見学であった。



ジャカルタのSOGOをバックに、商青連視察団の元気な顔が並ぶ

みんなで歌った青年部の歌



企業進出には コンセプトを 五味隆仁(安芸青年部)

「東南アジアへ進出しようとする企業は、自分の企業の利益のためだけに投資をするという考え方はいけない。進出した国、地域に対しては、そこで生活をしようとする人達に対しての様な投資をし、どの様な利益還元を行っていくのかという基本コンセプトをしっかり持ち認識しておく必要がある」

今回の視察研修でお世話、またお話をうかがった方々から私自身が得た「投資」という言葉の定義づけではなかったかと考えます。

その基本さえしつかりと決まっていれば進出する国によって諸事情は異なりますが、方法はたくさんあり企業が選択できる限り投資は成功すると思いたい。

海外研修という日本の国内で行う研修と違い、四カ国のそれぞれの人々と接しながら、参加されている皆様と交流させていただいたことは、今後の私にとりまして大きな財産となりました。

心で減じる 日本人を感じた 岩佐謙三(小野田青年部)

強行日程での視察であったが、地元料理と活気が吹き出し有意義な旅となった。

本音が出た 飲みニケーション 神谷竹彦(浜松青年部)

国内外を問わず、いろいろな人達と旅行をするの楽しさ、有意義な寺院内に伝説の深さを感じる。早朝ランニングに乗って水タマケットを見物し、タイ人の生活ぶりを垣間見る。

象徴的なマライオンが、海上を睨んで歓迎するシンガポール。木々の緑に恵まれ、道幅も広く、世界有数の商港であり美しい都市であるが、インスタント・アジアの観がある。ヤオハングループが建設したIMMでは時間が不足し、再度ヒジネを目的として訪ずれたのも、インドネシアの首都でも、オランダ統治のなごりをとどめるジャカルタでは、そのデパートを見学したが、購買人口が全人口の三%未満での商業進出では、苦戦を強いられると思つた。

泥んこの河口を意味するマレーシアの首都クアラルンプールは、シンガポールにせまる勢いで発展している。

東南アジアにおける日本経済の出目見しいものがあるが、資本投下、技術提携もよみが、現地の人々の生活に溶けこみ、その地に根をはった経済進出なのか、四カ国を巡って日本人の文化のおおひがなくなつたことと不安に思つた。もし日本が金持ちの国でなかったら日本人は何をもつて東南アジアに進出できるのか。中国系の人々のようにしたたかに東南アジア諸国リーダーになれるのか。

参加した旧日本兵の話聞き、物で栄えて減じる日本人を感じた。

今回の視察研修で、いろいろな人達と旅行をするの楽しさ、有意義な寺院内に伝説の深さを感じる。早朝ランニングに乗って水タマケットを見物し、タイ人の生活ぶりを垣間見る。

象徴的なマライオンが、海上を睨んで歓迎するシンガポール。木々の緑に恵まれ、道幅も広く、世界有数の商港であり美しい都市であるが、インスタント・アジアの観がある。ヤオハングループが建設したIMMでは時間が不足し、再度ヒジネを目的として訪ずれたのも、インドネシアの首都でも、オランダ統治のなごりをとどめるジャカルタでは、そのデパートを見学したが、購買人口が全人口の三%未満での商業進出では、苦戦を強いられると思つた。

東南アジアにおける日本経済の出目見しいものがあるが、資本投下、技術提携もよみが、現地の人々の生活に溶けこみ、その地に根をはった経済進出なのか、四カ国を巡って日本人の文化のおおひがなくなつたことと不安に思つた。もし日本が金持ちの国でなかったら日本人は何をもつて東南アジアに進出できるのか。中国系の人々のようにしたたかに東南アジア諸国リーダーになれるのか。

ジャカルタの石井氏(独立戦争に参加した旧日本兵)の話聞き、物で栄えて減じる日本人を感じた。

今回の視察研修で、いろいろな人達と旅行をするの楽しさ、有意義な寺院内に伝説の深さを感じる。早朝ランニングに乗って水タマケットを見物し、タイ人の生活ぶりを垣間見る。

象徴的なマライオンが、海上を睨んで歓迎するシンガポール。木々の緑に恵まれ、道幅も広く、世界有数の商港であり美しい都市であるが、インスタント・アジアの観がある。ヤオハングループが建設したIMMでは時間が不足し、再度ヒジネを目的として訪ずれたのも、インドネシアの首都でも、オランダ統治のなごりをとどめるジャカルタでは、そのデパートを見学したが、購買人口が全人口の三%未満での商業進出では、苦戦を強いられると思つた。

泥んこの河口を意味するマレーシアの首都クアラルンプールは、シンガポールにせまる勢いで発展している。

青年部会員の主張

一人の百歩より百人の一步 例会は真の友人をつくる場

美唄青年部 長岡正勝

このたび、商青連の広報委員会より「翔生」への寄稿を依頼されました。これは真にありがたく思っています。

「翔生」は全国商青連の青年部活動の活性化を図り、各地青年部の情報交換を促すとともに、商青連活動を全国の会員にPRすることを目的としており、私は北海道・美唄の青年部が広報生い立ちと活動を行ってきたかを報告し、会員皆様の何らかの参考になれば幸いと思っております。



美唄青年部 長岡正勝

今から七年前、昭和五十九年五月十四日の設立準備委員が次の様な設立趣意書を青年有志を送付いたしました。

低迷する経済状況の中にあつて、我々中小企業の使命は、地域商工業の発展に尽力すること、社会生活に資する諸事業実施の要求も大きなものがあります。

この時こそ、我々青年の勇氣ある行動力と若い活力を傾注しなければなりません。

高齡化社会と呼ばれる今日、あらゆる分野において、先輩の人々が練達した経験と豊富な知識をもって第一線へ活躍されていることは、真に心強く、心から敬意を表するもので

あります。しかし、その反面、青年層の意欲発現の場、活動機会が狭められていくことも否定できません。

新しい社会、新しい時代に即応するためには、若く情熱と、それによって生み出されるアイデアや行動力が期待されております。

経済環境が益々厳しくなる中において、企業の安定を願ひ、明るく、住みよい一街づくりのため、青年層が広い視野を立って、お互いの交流を深め、情報の把握に努め、潜在する能力を最大限に発揚する共に、商工会議所事業の遂行に寄与することは勿論、美唄市経済発展の「新しい風」となるべく美唄商工業「新」青年部を設立するものであります。

こんな内容で、当初の予想を大きく上回る六十八名のメンバー、道内七番目青年部となり、美唄に新しい風が吹きはじめたのであります。

今思うと、各地域の青年部は、設立に至った背景、運営方法、活動内容については多少の差はあるものの、青年部の「綱領」「指針」の精神が時を越えて感ずるものであります。

地域経済の活性化は、日本経済の動向に大きく左右されます。昨日まで機能していたプロパムは、今日では通用しない。激動と停滞、成長と衰退、期待と不安、etc...。相反することが繰り返りあつて、この時代、企業経営を巡る環境は

益々厳しくなつていくでしょう。この環境は、時を待たず好転するのでしょうか。残念ながら自らを変化させるに過ぎない時流は乗つていかれないと肝に銘じおこななければならないのです。

一人の百歩より百人の一步の方がどんなに全体のレベル、地域の活性化につながるか計り知れません。皆さんで、まず始めようではありませんか。

最後になりましたが、例会に出席する心構へについて、次の様な言葉を記憶しております。例会は気のあつた友人に逢うための場ではない、意気投合する真の友人をつくる場にはなりません。

私も残された期間、全力を尽くす青年部活動に参画していきたいと思つております。

「青年団体懇談会」を設立 例会で自己研鑽の体験発表

敦賀青年部 河瀬一治

私達の敦賀商工会議所青年部は昭和五十四年に設立されて、今年で十一年目を迎えました。地域経済の健全な発展を期する商工会議所の一翼を担うという基本方針のもとに研修会、イベント等様々な活動を実施し、賞賛や批判をいただきながら現在に至つております。

敦賀市は人口六万七千の地方都市であり、古くから港町として、また交通の要所として発展してきたところであり、その影響もあつてか人口の割には事業所は多く、千三百社以上が会議所加入しています。

しかし、青年部員は五十名中規模で、会員増強も課題の一つとなつております。

活動としては会員事業所の実情に見合った実務研修、自己研鑽につながる「体験発表」等をもつての例会で行つてまいし、新年例会や定

いま、戦後、復興期から高度成長期にかけて急増した中小企業の世代交代を迎えている。ちょうどベビーブーム世代が三つに四十歳を超え、その親が七十歳を超え始めている。大きな契機に代わつて、家族内の後継者によつて行われているわけではない。すま市場、萌芽市場をニュービジネスとして開拓する新創業者や、成長する企業を組織として高度に管理する腕を持った管理職も、その一翼を担つている。

ところで、日本商工会議所では平成元年度において、全国商工会議所青年部連合会に加盟する各地青年部に所属する青年経営者、創業家および後継者を対象に、経営姿勢等についてのアンケート調査を行った。四十九百七人から回答が約つたが、その結果はつたこと要約しよう。

①創業者に比べ、家族内後継者はより伝統的な業種に属し、同じ年齢層でも、創業者が完全に経営トップとしての実権を握つて行動しているのに対し、完全に自らに任せて経営者としての権限行使している者がより少なく、資産に満足する者が経営者としての多面的な喜びに預かぬ傾向がある。家族内後継者の研鑽と合わせた世代交代の促進が必要である。さもないと遊びに徹してついで危険だ。

②家族内後継者のうち、後継に当たつて「ぜひ継ぎたかつた」と逆により早く後継を自覚した者は、現在経営状況もよいし、その定期的な宴会やスポーツを通じて親睦会の中で各団体の悩みや今後の運営、これからの町づくり等について話し合ふを進めているところである。

③先代の高齡化による健康の衰えや死去が最大の後継契機である。これはいわば自然な交代要因であるが、先代が元氣うちに積極的な世代交代した方が予後の経営状態がよい。またちゃんと実権を、早めに掌握した経営者ほど、経営ののびている。近年、高齡化社会の到来で、なつかし先代が譲らないという事態が生じている中、先代のハッピーリタイアメント・プログラムを構想すべきであろう。

④しかし、早く後継を継げばそれだけでいいかというところでもな

は、戦後、復興期から高度成長期にかけて急増した中小企業の世代交代を迎えている。ちょうどベビーブーム世代が三つに四十歳を超え、その親が七十歳を超え始めている。大きな契機に代わつて、家族内の後継者によつて行われているわけではない。すま市場、萌芽市場をニュービジネスとして開拓する新創業者や、成長する企業を組織として高度に管理する腕を持った管理職も、その一翼を担つている。

⑤目立ちがやりに、親が肌にあるいは商人肌で仕事一筋、ワンマン型の青年経営者が、いま経営状況の企業には多い。つまり経営の成功は青年経営者の個性に負うところが大きい。個性だけで成功するわけではないが、自分に欠けるところがあればそれを育てるか、少なくも補うことを考えよう。

⑥企画力・アイデア、計画性、体力等では青年経営者の自信は高いものの、人脈の豊かさは、ハンダリー精神、威風凛々風格については先代、あるいは同業他社より劣るとは、地域や業界の活動に熱心については、地域や業界もよく、また青年経営者ほど営業もよく、また向上している。商工会議所についても、青年部活動に熱心者ほど評価を高めている。こういうネットワークキング活動を、遊びの場とのみ心得る経営者はだめだが、仕事一筋の姿勢で大胆に利用する経営者は伸びると言えよう。

個性の強い経営者ほど成功

青年経営者5,000人調査から

法政大学経営学部教授 川喜多 喬

関心等を持っている。経営トップから末端まで「人材育成型企業」とする決意が必要だ。

⑧さらに青年経営者には、立地条件を含め地域経済の悪化に関する意識が強い。個別経営をいくら改善しても、地域の購買力や地域業者の集積効果が減り薄れていくとすれば大問題である。青年経営者の研鑽活動と地域振興活動との連結が重要である。しかし狭い地域だけを見ていて、地域振興の方向を定める意思が育つわけでもない。地域を見据えるためにも国際社会の動向を視野に納めるべきだ。

⑨いくらえらそうなことを言つても、自分の力、経営をのぼすことができない経営者は、尊敬されてはならない。親の威風凛々風格で、親が築いた資産と商権で、青年部内の序列が形づくられとすれば、それの他でどうするか。青年こそ、自分の力だけで勝負するという自負心を持つべきである。この点から、多種多様な人々の相乗効果を青年部活動は大切にすべき。しばしば見られるような何代続いたとか、親の地位・役職がどうかとか、地元出身がどうかとか、学園云々とかいうことでの区別は廃すべきである。しばしば急成長企業はアウトサイダーが救済されている経験から生み出される。青年部活動は優れたアウトサイダーをインサイダー化すべく、組織に活動力を入られなければならない。それだけ青年部活動に魅力をつねねばならない。このためのアイデアが、実は自分言えよ。しかしそのためには、中小企業、青年経営者の勉強は、細部の経営技術だけではなく、時代を読み切るスケールの大きさもいれるわけである。創業家は、冒険を伴うものハンダリー精神でなければならない。組織の伸びには限界があること得。

⑦青年経営者には、某的な戦略立案に関わることを経験課題として認識する傾向が強い。家族内後継者の場合、経営者が30歳前後も若返ることを契機に、思い切つた経営転換、新事業、副業、転業、業態転換、移転などで、経営を一気に革新するチャンスがあるとも言えよ。しかしそのためには、中小企業、青年経営者の勉強は、細部の経営技術だけではなく、時代を読み切るスケールの大きさもいれるわけである。創業家は、冒険を伴うものハンダリー精神でなければならない。組織の伸びには限界があること得。

⑥企画力・アイデア、計画性、体力等では青年経営者の自信は高いものの、人脈の豊かさは、ハンダリー精神、威風凛々風格については先代、あるいは同業他社より劣るとは、地域や業界の活動に熱心については、地域や業界もよく、また青年経営者ほど営業もよく、また向上している。商工会議所についても、青年部活動に熱心者ほど評価を高めている。こういうネットワークキング活動を、遊びの場とのみ心得る経営者はだめだが、仕事一筋の姿勢で大胆に利用する経営者は伸びると言えよう。

⑤目立ちがやりに、親が肌にあるいは商人肌で仕事一筋、ワンマン型の青年経営者が、いま経営状況の企業には多い。つまり経営の成功は青年経営者の個性に負うところが大きい。個性だけで成功するわけではないが、自分に欠けるところがあればそれを育てるか、少なくも補うことを考えよう。

④しかし、早く後継を継げばそれだけでいいかというところでもな

は、戦後、復興期から高度成長期にかけて急増した中小企業の世代交代を迎えている。ちょうどベビーブーム世代が三つに四十歳を超え、その親が七十歳を超え始めている。大きな契機に代わつて、家族内の後継者によつて行われているわけではない。すま市場、萌芽市場をニュービジネスとして開拓する新創業者や、成長する企業を組織として高度に管理する腕を持った管理職も、その一翼を担つている。

③先代の高齡化による健康の衰えや死去が最大の後継契機である。これはいわば自然な交代要因であるが、先代が元氣うちに積極的な世代交代した方が予後の経営状態がよい。またちゃんと実権を、早めに掌握した経営者ほど、経営ののびている。近年、高齡化社会の到来で、なつかし先代が譲らないという事態が生じている中、先代のハッピーリタイアメント・プログラムを構想すべきであろう。

翔け世界へ、新しい時代の開拓者 各委員会レポート特集

組織強化委員会

組織強化委員会は、今年度事業計画のトップにあげられた組織率向上を重点課題として捉えた活動を推進している。

全国四百九十六会議所中、青年部の設置率は六八・一％で未組織の所が百五十八地区に及んでいる。さらに全国三百三十八の青年部のうち、商青連への加入率は七八・一％となっている。このため、青年部設置の働きかけと同時に、商青連加入に向けた二つのアプローチが必要になっ

組織率向上にむけ 会員勧誘のパンフ作成

このため、今年度は初めて会員勧誘のためのパンフレットを作成し、我々商青連の活動を積極的に紹介する方針で準備を進めている。

プロダクト大会は「いま、庶民から青年部」をテーマに総合的な視野から組織を語り合ひ、これら意見を吸収し再確認している。こうした活動の中、次期を担う青年実業家にとって商青連が必要不可欠な組織として、委員長の「生きただ動き」を伝えるたい

広報委員会

今年度は商青連工芸部青年部より出向の中村公英委員長以下七名で組織し、運営を行っております。広報委員会の主たる事業は、商青連の唯一の広報誌である「翔生」の企画発行です。企画内容等に関しては、諸先輩方の意見を理解しながらも、斬新さも加味しながら、委員の皆様が親しみながら愛読いただける様、工夫努力をしております。幸にして委員長が機関誌発行等に非常に明るく本誌の発行の成否は、原稿

「生きただ動き」伝えるたい

依頼者の原稿がいかにもタイムリミットまでに集まるかという問題だけではなく、私達の商青連も創立後八年を経過し、「綱領」指針を示され、委員の意識的にも徐々に確立され、親会議所や対外的にもその存在意義が認識されつつあります。そんな環境の中にあつて広報委員会としては、遅まきながら商青連の組織として、真の広報活動とはいかに伝えるべきかを真剣に議論し、実行すべき検査を始め

特別委員会

特別委員会では本年度活動方針「CI (Corporate Identity)」の導入と普及の推進について、商工会議所青年部の愛称「ロゴ」等を浜松市中で開催される第十回大会で発表できるとする観点から検討を重ねてきておりますので、これまでの活動状況を報告します。

(一)CI導入のきっかけと目的

国際化の進展や複雑・多様化する経営環境のもと、全国大会第十回大会をきっかけに商工会議所青年部が社会的に認知されるアイデンティティを確立するため、CIを導入する。

よいためイメージ悪いイメージ②これからの商工会議所青年部の持つべきイメージ③簡略名称、愛称④イメージカラー⑤コーポレートカラー⑥CIに関する意見についてアンケート調査を実施、九十九回の回答が寄せられた。そのうち②について回答が多かった。④のイメージカラーについては若さ、清潔感、雄大をイメージするブルー系統が圧倒的に多かった。

青年部の簡略名称等検討

作業として、①商工会議所青年部のコンセプト②簡略名称、愛称③ロゴタイプ④コーポレートカラーを設定して全国大会で発表し、これらの普及を図るためのパンフレットを制作することとした。

なお、シンボルマークについては商工会議所マーク、また、コーポレートロゴタイプについては「綱領」指針があることから、今回つくらないこととした。

(二)イメージ調査の実施

商青連加入二百四十五青年部、平成二年三月現在、に対して、現在の商工会議所青年部の持つ

研修委員会

国際化へ海外経済視察団

本年で創八周年目を迎えた商青連は、「翔け世界へ新しい時代の開拓者」のスロガンのもとと地経経済の活性化、国際化を提唱してきた、その一環として、新たな投資対象国として注目を集めている東南アジア諸国へ経済視察団を派遣する。視察団は、中小企業の海外進出の可能性を探る、目的とし、各地の進出日系企業を訪問し視察した。

また、現地日本人商工会議所をはじめ進出日系企業の幹部の方々と懇談会を設け、実情を調査してきた。総括として、中小企業の進出という面においては、労働事情等種々の問題が解決しやすい状況にあるが、それらの国より税制面、投資規制等々法的に内容の違い、またまだ研究する必要がある。直接投資できる国、できない国が分かれていたが、どちらにしても信頼できるよきパートナーを見つけたことは一番肝要ではないか。

総務委員会

商青連は、発足以来十年の年月を経過して来ているが、商青連へ加入する青年部も多く、時代に合った新たな改革を求められているのではないかと思われる。このような環境の中、日本経経が世界の中で目まぐるしく変化し、国際化の進展や複雑・多様化する経営環境のもと、地域の商工会議所果たす役割がいま問われる。時

今後の基本ルールづくり

代の流れを正しく認識し、商青連の今後のあり方真剣に考え、基本ルール作りを行い、各商工会議所青年部と歩調を取れ組織作りを進め、総務委員会は次の事業に取り組んでいる。

1. 全国大会の開催地および開催要綱の見直し
2. 商青連役員選出規定の見直し
3. 青年部設置に関するマニュアル
4. 青年部定年年齢
5. 明日への挑戦の改訂版刊行
6. 第十三、十四回会員総会の開催

以上を、今年度中にまとめ答申をする時こそ必要です。

【編集後記】はじめに、プロダクト大会の御報告をいただいた方に、報告書の一部を割愛したことに、お詫言申上げたい。全国からの庄助のお奇巧のためとはいえ、貴重な時間をさいてまとめた文章を削るのには編纂する側として苦しい選択だったことをご理解ください。

都道府県名(設置数/率)	青年部設置数	青年部設置率
北海道(15/41) (36.6%)	青森(6), 岩手(10), 宮城(15), 秋田(5), 山形(6), 福島(10)	15
東北信越(32/50) (64.0%)	青森(6), 岩手(10), 宮城(15), 秋田(5), 山形(6), 福島(10)	32
北陸信越(64/96) (66.7%)	新潟(16), 富山(8), 石川(6), 福井(7), 長野(20)	64
関東(71/94) (75.5%)	茨城(9), 栃木(9), 群馬(10), 埼玉(10), 千葉(15), 東京都(12)	71
東海(24/44) (54.5%)	山梨(3), 静岡(12), 愛知(19), 岐阜(2)	24
近畿(46/67) (68.7%)	福井(7), 滋賀(2), 京都(18), 大阪(18), 奈良(17), 和歌山(3), 鳥取(4), 島根(1)	46
中国(34/51) (66.7%)	岡山(13), 広島(12), 山口(14)	34
四国(27/29) (93.1%)	徳島(6), 香川(9), 愛媛(11), 高知(6)	27
九州(51/77) (66.2%)	福岡(19), 佐賀(8), 長門(9), 熊本(10), 大分(10), 宮崎(9), 鹿児島(10), 沖縄(3)	51

特別委員会	設置状況
北海道連絡協議会	青森県連, 宮城県連, 山形県連, 福島県連, 岩手県連, 秋田県連, 山形県連, 宮城県連
東北信越連絡協議会	青森県連, 岩手県連, 宮城県連, 秋田県連, 山形県連, 福島県連
北陸信越連絡協議会	新潟県連, 富山県連, 石川県連, 福井県連, 長野県連
関東連絡協議会	茨城県連, 栃木県連, 群馬県連, 埼玉県連, 千葉県連, 東京都連
東海連絡協議会	山梨県連, 静岡県連, 愛知県連, 岐阜県連
近畿連絡協議会	福井県連, 滋賀県連, 京都府連, 大阪府連, 奈良県連, 和歌山県連, 鳥取県連, 島根県連
中国連絡協議会	岡山県連, 広島県連, 山口県連
四国連絡協議会	徳島県連, 香川県連, 愛媛県連, 高知県連
九州連絡協議会	福岡県連, 佐賀県連, 長門県連, 熊本県連, 大分県連, 宮崎県連, 鹿児島県連, 沖縄県連